

3. 博士後期課程の履修について

3.1 履修方法について

国際文化研究科（博士後期課程）の修了要件では、博士後期課程に3年以上在学し、共通科目（必須）の2科目4単位以上、専門科目（選択科目）から2科目4単位以上、研究指導科目（必須）の6科目12単位、合計10科目20単位以上修得、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士論文の審査及び最終試験に合格することが求められる。

そのため、研究指導教員は、必要単位修得に向けて計画的に履修指導を行わなければならない。

履修指導モデルは、以下の通りである。博士論文の執筆を進める上で、1年次前学期において共通科目1科目2単位及び研究指導科目1科目2単位に加え、専門科目（選択科目）2科目4単位を履修することを推奨するが、専門科目（選択科目）については、2年次前学期及び3年次前学期においても履修は可能である（専門科目＜選択科目＞は、原則として、「前学期」のみの開講である）。

研究指導教員は、院生が履修登録を行う際に、必ず当該院生の履修登録カードに押印あるいはサインすること。

【参考】国際文化研究科国際地域文化専攻（博士後期課程）履修モデル

履修モデル1

研究分野・・・沖縄(琉球)・アジア研究

・グローバル化が進展する21世紀において、沖縄（琉球）の地域および文化の研究を環太平洋の枠組みの中で行う。

科目 区分	授業科目の名称	修得単位数		
		1年次	2年次	3年次
共通 科目	国際地域文化総合演習Ⅰ	2		
	国際地域文化総合演習Ⅱ		2	
	小計（2科目）	4		
科 専 目 門	琉球・沖縄文化特論	2		
	南島民俗文化特論	2		
	小計（2科目）	4		
研究 指導 科目	特別演習Ⅰ	2		
	特別演習Ⅱ	2		
	特別演習Ⅲ		2	
	特別演習Ⅳ		2	
	特別演習Ⅴ			2
	特別演習Ⅵ			2
	小計（6科目）	12		
修得単位数合計		20		

履修モデル 2

研究分野・・・沖縄(琉球)・アジア研究

・グローバル化が進展する 21 世紀において、中国・琉球関係史を通して、地域及び文化の研究を環太平洋の枠組みの中で行う。

科目区分	授業科目の名称	修得単位数		
		1 年次	2 年次	3 年次
共通科目	国際地域文化総合演習Ⅰ	2		
	国際地域文化総合演習Ⅱ		2	
	小計（2 科目）	4		
専門科目	中国琉球関係史特論	2		
	東アジア地域文化特論	2		
	小計（2 科目）	4		
研究指導科目	特別演習Ⅰ	2		
	特別演習Ⅱ	2		
	特別演習Ⅲ		2	
	特別演習Ⅳ		2	
	特別演習Ⅴ			2
	特別演習Ⅵ			2
	小計（6 科目）	12		
修得単位数合計		20		

履修モデル 3

研究分野・・・南北アメリカ研究

・高度の外国語運用能力を駆使し、南北アメリカ研究（ハワイを含む）を環太平洋の枠組みの中で行う。

科目区分	授業科目の名称	修得単位数		
		1 年次	2 年次	3 年次
共通科目	国際地域文化総合演習Ⅰ	2		
	国際地域文化総合演習Ⅱ		2	
	小計（2 科目）	4		
専門科目	20 世紀アメリカ文学特論	2		
	中南米地域文化特論	2		
	小計（2 科目）	4		
研究指導科目	特別演習Ⅰ	2		
	特別演習Ⅱ	2		
	特別演習Ⅲ		2	
	特別演習Ⅳ		2	
	特別演習Ⅴ			2
	特別演習Ⅵ			2
	小計（6 科目）	12		
修得単位数合計		20		